

会議録

令和 7 年 8 月 20 日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和 7 年度第 3 回定例会
開催日時	令和 7 年 7 月 16 日(水) 午後 6 時 30 分 から 午後 8 時 30 分 まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：小須田厚子(会長)、松本静(副会長)、澤井稔、小池教之、渡邊耕造、下坂小百合、亀倉康悦、花房敦子、ギログリー江美、鈴木明美、小林大介、荒井容子、坂内夏子 事務局：近藤館長、市川事業係長(柳沢)、山本分館長(田無)、根岸分館長(芝久保)、菅野分館長(谷戸)、一之瀬分館長(保谷駅前)、三城事業係主任
欠席者	小林資郷
議題	1 審議事項 (1) 令和 7 年度第 1 回定例会会議録(案)について(資料 1) (2) 令和 7 年度第 2 回定例会会議録(案)について 2 主催事業について (1) 令和 7 年度公民館主催事業報告について(資料 2) (2) 令和 7 年度公民館主催事業計画について(資料 3) 3 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告 4 事務連絡及び情報交換 (1) 令和 7 年度第 1 回利用者懇談会について 公民館サポーター 他 (2) 公民館運営審議会紹介紙について (3) その他 令和 6 年度西東京市公民館事業評価表について (4) 令和 7 年度第 4 回定例会の開催について
資料	【配付資料】 資料 1 令和 7 年度第 1 回定例会会議録(案) 資料 2 令和 7 年度公民館主催事業報告書 資料 3 令和 7 年度公民館主催事業計画
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
傍聴者	☒ あり(3 名) ☐ なし
会議内容	
1 審議事項 (1) 令和 7 年度第 1 回定例会会議録(案)について(資料 1) ●令和 7 年度第 1 回定例会会議録(案)について、委員から 4 ページの 18 行目の「変更した事業」ではなく「変更した事情」である指摘があり、事務局が修正することで承認する。 (2) 令和 7 年度第 2 回定例会会議録(案)について ●令和 7 年度第 2 回定例会会議録(案)について、各自内容を確認し 1 週間以内を目途に修正や意見を事務局に連絡する。 2 主催事業について (1) 令和 7 年度公民館主催事業報告について(資料 2)	

○A委員

教養講座「私の好きな樹」に出会う樹木観察会～東京大学田無演習林の散策と巨樹を描く五感アート～（芝久保）は、ここ数年間、地域の公園や自然と表現活動を一緒に兼ね合わせたものを提案しており、今回も報告が出ている。今回は東大農場で、実際に地域の自然と演習林を散策した後に、五感アートで表現することでより地域に密着した感想も上がってきている。こうした活動のかたちで西東京市の自然を汲み上げつつ、表現に活かしていくのは今後期待される企画だと思い評価したい。

○B委員

多世代交流講座音楽とお話を楽しむ時間～0才からシニアまで！自分を見出す脳と体のストレッチ～（芝久保）で、担当の考察・課題においてシニアの参加者の声を踏まえ、本講座の趣旨を理解してもらえるように、今後は周知に工夫をしたいとある。もう少し難しい脳トレというのはどのくらいのことで、ようするにつまらなかったということだったのか。脳トレと両方をやるのは難しいということか。

○分館長（芝久保）

表題にあるとおり0歳からシニアまでということで、多世代で低年齢の方も理解できるようなかたちで、同じ空間の中で音楽に合わせて運動し、いろいろな感覚を身に付け、高齢の方も何名か出席された中で、恐らく介護予防の視点をイメージされていたのかもしれないが、趣旨をもう少し丁寧に伝えて、多世代で音楽やいろんな表現、読み聞かせなど色々な感覚を研ぎ澄まし共有するところをもう少し伝えていければと考えている。

○B委員

0歳からシニアまでの脳と体のストレッチというとシニアの方がもう少し楽しくなるような趣旨だけでなく、高齢に伴った期待というか対応とずれていたのか。シニアにとってこの事業はあまり意味がないわけではないのか。

○分館長（芝久保）

私も本講座に参加し、音楽やピアノの伴奏に合わせて講師の方が案内するかたちで複雑な動作をする内容であった。個人的には刺激があるという印象があるが、高齢者がどのようにレベルが低いと感じたか具体的に聞き取れていない。高齢者が行うのにレベルが低いとは思わなかった。

○C委員

多世代交流講座（芝久保）は、いい具合に世代が分かれて参加されているが、広報の仕方で工夫された点を教えて欲しい。

○分館長（芝久保）

広報については、公民館だより、ホームページとチラシ掲示、来館されている方への呼びかけ、SNSの活用により案内をしている。担当者が併設の図書館に来た親子に丁寧に案内し、関心を持っていただいている。保育付き講座の参加者が減少傾向にある中で、本講座の案内とともに保育付き講座の案内もしていた。

○C委員

シニア層に向けた工夫はないのか。

○分館長（芝久保）

公民館だよりが刷新されてそちらをご覧になられていること、公民館内の案内掲示とチラシを見た方が来られたことと思うが、シニア層の方に向けた特段の工夫はしていない。

○A委員

芝久保公民館はこうした0歳からのサロンコンサートなど開催している中で、地域性のことがよく話に出てきているかと思う。高齢者からお子さんまでが集う公民館として地域との密着度の高い公民館ということで、幅広い年齢層に足を運んでいただける講座になったのではないかと思う。交流についても芝久保公民館は丁寧にしているので、そのネットワークの中で集まってきているのも一つではないかと感じている。

○D委員

シニアの参加者のもう少し難しい脳トレやストレッチとの記述は、アンケートを見ると60代の方は良い評価をしている。もう少し最初からどういうことをやるのかというのを説明が

あったほうが良かったのかと思う。

○E委員

多世代交流講座（芝久保）の参加者の評価で「とても楽しかった、生のピアノの音を子どもに聞かせることができて良かった。」とあり、これが親と子にとってどれだけいいかということを感じた。小さな子も入って騒いでもいいという企画も他にあるが、今回は0歳児からと謳っているからには遠慮せず、マイナスな思いをさせない場であって欲しい。今後も誰でも自信を持って参加できるような企画をしてもらえればと思う。アンケートを各家庭1枚で提出ということは、家族でなく来られた方もいることが感想で分かり、趣旨が伝わるいい講座であったのかと思う。

○B委員

趣旨が伝わらないというよりも内容で読み聞かせやリトミックというとシニアの方は大体行かないと思う。脳トレというのがつながるので興味を持ったのかと思うので、来た方に高齢化の予防の脳トレと違うけど一緒にやると面白いという呼びかけにしておけば、趣旨としては0歳に合わせるのではないかたちで呼びかけ、挑戦するといいのではないかと思う。

○A委員

いい講座であるが、呼びかけのところを工夫するよう担当者に伝えていただければと思う。

(2) 令和7年度公民館主催事業計画について（資料3）

○事業係長

今回、保育付き講座が複数あるので、新しい委員の方たちに、公民館の保育室がどんな経緯でどんなところを大切にやっているか、元保育員のA委員からご説明いただきたい。その後、計画書について担当館から説明する。

●A委員

西東京市公民館保育室のこれまでの経緯や公運審への諮問と答申のほか、昨今の保育に関する制度面の事情と公民館保育の今後に関する話をした。

○事業係長

保育所や一時保育、民間の預かり所も増えてきているなど、近年急速に状況が変わっており、平日午前中の長期講座という従来の講座に、参加者が以前ほど集まらない状況がある。ただ、ここ数年試みている土日での開催や、短期・中期の講座の反響の高さから、学習に対するニーズは依然高いと感じている。7割以上が共働きという状況の中で、保護者の学習権の保障という視点に立ったとき、そうした事業の充実を図っていかなければならないと思っている。ご意見をいただきながらより良いものにしていければと思う。

○A委員

参加される親子が少なくなっている現実があり、宣伝などを考える中で、一般の方と別枠のQRコードを設定することや定期的に親子に保育室を知ってもらい試みや講座を受けた親の声や保育員の話を実際に聞いてもらうなど変化を付けていかなければならないと思う。

○F委員委員

公民館保育員はどういう契約で継続性があるのか確認したい。また、多世代は何歳から何歳まで許容されるのか。講座によっては10、11回あるが、ここに預けられている子どもたちが継続的に同じメンバーで学び、関わりの履歴があるかと思う。どのように学びがあったかなどのフィードバックの場はあるのか。それが広報につながるのではないか。

○事業係長

公民館保育員は、会計年度任用職員として面接を行い採用している。公民館ごとに配属し、1年更新。1館6人、柳沢のみ7人が定員。保育の対象は未就学児としている。フィードバックについては、中間の回と最終回で、保育員から保護者に向けて保育室でのお子さんの様子を話や写真で報告している。また、各館で講座毎に記録誌を作成することで、振り返ることができるようにしている。

○A委員

公民館の保育員は保育士免許のない方もいる。2時間の間、子ども達を安心、安全に過ごせるだけでなく、社会生活の場であるようなかたちで預かるようにしてきており、その中で子

もも母親が講座を受けている間にそれぞれ成長している。

○C委員

保育士の免許のない方もいるとの話があったがどのくらいの割合でいるのか。また、おやつ代はいろいろだが、おやつの内容が違うなどがあるのか。子育て中の人のための講座（保育付き）絵本がつなぐあなたとわたし～手作り絵本があなたの子育てを楽しく豊かなものにかえていく～（谷戸）の事業計画で学習内容にちひろ美術館に行くというものがあるが、保育室と母親が離れてしまうので私は心配になるのではないかなと思うがそのあたりはどうか。

○事業係長

多くの方が保育の資格を持っているが、講座の参加者がその後に公民館保育員になるケースもある。おやつ代は、1回麦茶30円、お菓子30円の60円。計画書上の講座の回数と金額が合わないものがあるのは、講座後のフォロー会が含まれることによる。欠席分は最終回に清算し返金。

○B委員

来年度、西東京市子ども誰でも通園制度が始まるが、公民館保育の積み重ねてきた良さをアピールすることについて、語っていただけないか。

○A委員

子どもたちが通うところができ、公民館保育の意義が問われてくるのではというところもあり、子どもを預けて学びがあるという視点で親が何を感じ、預かる人が何を感じ子どもたちが過ごす場を大人が伝え合えないと良い教育現場にならないのではと思う。公民館保育が培ってきたことが役に立つのではないかなと思う。

●分館長（谷戸）

子育て中の人のための講座（保育付き）（谷戸）について、具体的な進め方や内容を交えながら説明をした。

●分館長（駅前）

多文化共生講座Ⅰワークショップ、映画を通して難民・避難民問題を考える、Ⅱ私たちが身近に始められることーやさしい日本語を学ぼうー（駅前）について、これまで実施してきた経緯のほか、具体的な内容を交えながら説明をした。

○G委員

多文化共生講座（駅前）で、やさしい日本語を学ぶ場をやっていただけるのはありがたい。外国人の多い学校では学校だよりでやさしい日本語を使用している事例もあると聞いている。様々な場所で外国人が働いている。福祉施設は外国の方がいないと成り立たないという現実がある。難民と避難民を考える問題は、平和を考える大きなテーマであり、とても興味がある。やさしい日本語も大きなテーマだと思う。平和を考える難民、避難民については、続けてやって欲しいし、改めてやさしい日本語を掘り下げて欲しい。やさしい日本語も一つの講座になりうらと思うがどうか。

○分館長（駅前）

今回、大きなテーマを2つ挙げている事業だが、貴重なご意見をいただいた。持ち帰って次回につなげられる講座にできればと思う。

○A委員

多文化共生講座（駅前）で、貴重な意見があったところで、H委員に学校現場の外国籍の保護者が多くなっている状況をお話いただきたい。

○H委員

本校では日本語指導する人を派遣してもらう場面はないが、私が小学校に勤めていたときに、日本語指導を必要とする児童がいて、100時間の指導をやっていただいた。学校だよりや学級だよりで日本語を分かりやすく表記する視点は欠けていたと思うので、やさしい日本語の注釈的なものを付け加える必要が出てきているのではないかなと感じた。

○I委員

多文化共生講座（駅前）で、ウクライナの話聞くのは貴重だと思うが、地域には他にも多様な国籍の方が暮らしているので、それぞれ異なる課題を抱えていると思う。多文化というところで、講座の中でそうした多様な視点について取り上げられればと思う。やさしい日

本語もいいと思うが、どうしても難民と結びつかない。2部構成というのも無理があるのではと思う。この地域に住む外国籍の方々の声を直接聞けるような会があるとより身近にお困り事や参加者の関心も高まるのではないかと感じた。

○事業係長

本講座は連続の2部構成ではなく、ⅠとⅡで別の参加者を募る。両方の講座参加も可能だが、講師も変わり、多文化共生というテーマで別の講座を2本掲載している形になっている。別講座として広報の仕方を一度検討したい。

○B委員

多文化共生（駅前）と人権講座多様性を大事にする社会に向けて～だれもが幸せに～（駅前）の事業計画書ともに2つの内容を盛り込んでいるが、それぞれが大事な話で、多文化共生（駅前）は平和のことを大事に考え、ウクライナ難民の方のことが続いていた。今後も平和は外さないで欲しい。

○F委員

絵本とわらべうたで楽しい子育て～あなたもわたしもOK、ありのままのわたしの子育て～（田無）で、10回のうち、内訳を見てみると交流分析や子育てを通じて自分を見つめるとあり、全体としては絵本とわらべ唄というよりも総合的な講座のように思うが、事業名なのか文章なのか、狙いとか対象がずれないように工夫していただくと良いかと思う。子育て中の男性と子ども対象講座小学生親子料理講座子育て中の男性あつまれ♪パパっと、ごちそうレシピ（田無）でごちそうを作ろうということで、テンションを上げるということかと思うが、どうしても非日常的なメニューだと次につながらないのではと思う。こういうものを作ると実はこういうものも作れるというような基本的なものとそういうものもあっても良いのではと思う。

○分館長（田無）

子育て中の人のための講座（保育付き）（田無）は総合的な講座となっており、小さいお子さんを育てて不安のある方、孤立している方が楽しく子育てできるようにわらべ唄ということで企画している。また、子育て中の男性と子ども対象講座（田無）について、父親とお子さんの料理講座は、特別な日に普段作れないような料理を親子でも作れるということがお子さんの自信につながり、父親の自信につながると考えている。母親と家族に作ってあげたいという小学生の声があり、ごちそうを作れた達成感があり、こちらも継続事業としている。

○E委員

子育て中の人のための講座（保育付き）（谷戸）の中で、ちひろ美術館に出かけることが書いてあり、公民館保育室を利用した親の立場から言うとやってみて欲しいと思った。自分達で講座を受けている部屋から保育室の子の声が聴こえてきて落ち着かない気持ちになることがあった。子どもも頑張っているのも母親も頑張ろうとしている。物理的に親子の距離が開くことで落ち着いて参加できると思うので成功したら良いと思う。

○J委員

委員の方々からいろいろなご意見いただいているが、ぜひ講座を単発で終わらせずにトライした結果で課題が出てくると思う。少なくとも3回くらいはローリングをかけてやっていただけたらと思う。

○A委員

子育て中の人のための講座（保育付き）（谷戸）で、ちひろ美術館に行くのは保育付きかどうか確認したい。

○分館長（谷戸）

当日は現地集合、現地解散である。谷戸公民館の保育室と学習室の間に事務室があるため、お子さんの声は聞こえていないのではないかと思います。

○A委員

公民館保育室の預かりは2時間のため、ちひろ美術館に行くのは距離的に難しいのではないかと思います。また、公民館保育は、近くで親が学ぶ場があり保育園とは違うと思うので、保育員からするとハードルが高いのではないかと思います。

○B委員

子育て中の人のための講座（保育付き）（田無）について、子育て期の市民だけでなく、世代を越えて市民がともに学び、交流する視点を持った事業にという言葉があるが、内容的にそういうことにしていくのか。子育て中のための講座だが、そういう視点で工夫などはあるのか。

○分館長（田無）

7回目の公開講座で幅広く参加者を募るので、その部分を表現している。

○B委員

子育て中の男性と子ども対象講座（田無）について、料理研究家が自己流でアバウトに料理を楽しむという趣旨のテレビ番組が人気であり、難しそうな料理でも楽しくアバウトに作るというようなかたちも良いのではと思う。

○分館長（田無）

アバウトで対応力のある先生で、ごちそうでも簡単にできるようにしており、失敗してもカバーできることも伝えている。

3 報告事項

(1) 行政報告

- 公民館長から東京都公民館連絡会館長部会において情報交換及び情報共有した内容を報告。

(2) 公民館だより編集室報告

- 担当委員より7月7日開催の公民館だより編集室会議について報告。

(3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

- 担当委員より7月10日開催の委員部会運営委員会について報告。

4 事務連絡及び情報交換

(1) 令和7年度第1回利用者懇談会について9月に実施予定の利用者懇談会に参加する委員及び各館のまつりに参加する委員の事前確認。

(2) 公民館運営審議会紹介紙について報告。

(3) その他

- ・公民館事業（6館ライブツアー）の情報を広報プロモーション課などに働きかけ、市の宣伝につなげることへの提案。

- ・令和6年度西東京市公民館事業評価表について、次回の定例会に見やすいかたちで提示し、二次評価していく流れについて説明。

(4) 令和7年度第4回定例会の開催について

日時：令和7年8月20日（水）午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室